

2019 軽耐久シリーズ 競技規則書



■ 重要なお願い

・競技規則書や車両規則書に定められた事項はすべて遵守ください。車両規定について、参加クラスにより、変更範囲が異なることがあります。再度、車両規則書などの関係書類をよくお読みいただき、変更範囲内の改造をお願いします。現在実施している車検では、時間や設備などによる制約もあり、すべての項目において、確認することはできません。つまり、皆さんの良識をお願いしている部分が多々あるわけです。しかしながら、確認できないから変更してもかまわないということではありません。定められたルールは遵守いただき、その範囲でレースをお楽しみいただくようお願いいたします。なお、様々な疑義が生じたチームについては、その場で確認できる場合は「クラス変更」とともに「減算ペナルティ」を科すことがございますので、あらかじめご了承ください。これは、車両を購入した時点で「変わっていた(未必の故意)」なども同様です。なお、クラス変更などの判断にせよ、現状で問題がないと判断した場合でも、すべてに対する決定権限は主催者判断となりますことも、併せてご承知ください。

・お問い合わせは「問い合わせ専用メール」にてお願いします。

問合せはメールにて、写真などを添付していただくと、回答もスムーズにおこなえます。

また、頂戴した質問内容・写真および回答内容は全参加者様に通達できますよう、HPの軽耐久ページ内にQ&Aを設け、その中で質問、回答、写真などをすべて開示しています。(所有者様の許可なく掲載しますので、この点もあらかじめご了承ください。)

これは、この参加チームには話したが、他のチームには話しておらず、「知らなかった」というケースを避け、より公平に全参加者様に情報が伝達されることを目的としています。質問、回答は随時更新していきますので、Q&Aページはよくチェックしてください。開示している内容を「知らなかった」というのは一切認められませんので、あらかじめご了承ください。

■ 問合せ先

・申込や競技内容について

株式会社ツインサーキット軽耐久事務局 TEL:059-372-2401 / FAX:059-372-2402 / E-mail:info@twincircuit.co.jp

・車両規則など車両に関する全般について

レインボーカラーズ株式会社 TEL:0566-91-3779 / E-mail:info@rainbowcolors.jp

■ 2019 年シリーズ変更点

・参加人数

1 チームあたり:2 名～6 名 ⇒ 1 チームあたり:**3 名**～6 名

・ピット使用に関する注意事項【準備する消火器について】

車載消火器とは別に準備すること。**製造から 10 年未満のものの使用を強く推奨**する。

・義務ピットインおよびピット作業

決勝スタートからチェッカーまでの間に **5 回以上**、義務ピットインをしなければいけない。**5 回未満**の場合減算ペナルティ(3 周)となる。

・給油に関して【持込容器について～】

使用可能形状以外の容器で給油した場合、**失格**とする。

ただし、給油に使用せず、**給油所での保管だけのための容器は持込容器の条件を満たしているものであれば形状は問わない**。

・給油に関して【給油について～】

決勝中、必ず 1 回は給油をおこなうこと。(決勝中の給油がなければ減算ペナルティ(3 周)とする。)

・レース中断(赤旗)および再開【赤旗対象車両について】

コースから自力でピットへ戻れない場合・・・「エンジンがかからない、ギアが入らないなどでまったく自力で動かない」、「グラベルでスタックし、コースオフィシャルが手押ししなければ自力で脱出できない」などはすべてリタイヤ扱いとなる。

・フルコースコーション(セーフティーカー導入)【セーフティーカー導入対象車両について】

コースから自力でピットへ戻れない場合・・・「エンジンがかからない、ギアが入らないなどでまったく自力で動かない」、「グラベルでスタックし、コースオフィシャルが手押ししなければ自力で脱出できない」などはすべてリタイヤ扱いとなる。

・「ドライブスルーペナルティ」、「ペナルティストップ」について

ペナルティボードを掲示されてから3周以内に実行されない場合、**ペナルティボード無視として、「5周減算」とする。**(ボード掲示はその時点で終了する。)

・減算ペナルティ(3周)について

義務ピットイン回数(**5回未満の場合**)違反 ←左記違反ペナルティを追加

・失格について

ピット内での火気使用や喫煙(**加熱式タバコなども含む**)、給油(発電機への給油以外)などがあった場合

給油エリア内での火気使用、喫煙(**加熱式タバコなども含む**)などがあった場合

その他、他チームや大会関係者などへの暴言、暴力などがあった場合(失格とともに今後の出入り禁止措置も伴う場合あり)

・リタイヤについて

レース中、いかなる状況であっても、以下の状態になったチームはリタイヤとみなす。

◇コース上や安全位置で止まったが、(エンジン、その他の要因に関わらず)自力で再スタートできない。

◇グラベルなどに入り込み、まだ走行は続けられるが、コースオフィシャルの手を借りなければ自力で脱出できない。

◇自力復帰できるも、低速でしかピットへ戻れず、他の参加チームのレースの妨げになり危険であると、競技長が判断した場合。

◇自力復帰できず、レース進行上、危険位置のため、コースオフィシャルが牽引車両などでピットへ戻した場合

※ピットインの際、ピットループを越え、ピットロードへ進入後、動けなくなった場合や、ピットアウトの際にピットエンドシグナルの信号の手前の

ピットロード上で動けなくなった場合は、ピット員が手押しして自ピットに戻ることができる。(リタイヤ扱いとはならない。)

その際、他のピットイン、ピットアウトの車両の進路を妨害しそうな場合は一時的にコースオフィシャルが手押しし、邪魔にならないスペースへ移動の補助をおこなう場合があるが、リタイヤではない。

・再車検について

再車検にてレギュレーション違反が発覚した場合は**失格**とする。

1.開催日程

Round.1 : 5月12日(日) / Round.2 : 7月7日(日) / Round.3 : 10月20日(日) / Round.4 : 12月8日(日)

2.主催・協力

主催:株式会社ツインサーキット / 協力:レインボーカラーズ株式会社

3.開催場所

鈴鹿ツインサーキット フルコース(1,750m) 住所:〒510-0265 鈴鹿市三宅町 2913-2

4.参加資格

- 日本国内で有効な普通自動車運転免許を所持の18歳以上の方
※免許取得後、6か月以上を経過していること。(抜き打ちで免許証を確認する場合がありますので、必ず持参すること。)
- サーキットのマナーやルールを守り、走行・観戦できる方

5.参加料金

- 1チーム:50,000円/1ラウンド(サーキット傷害保険代、自動計測器代含む)
※入場料金について
参加受理書送付時に、1チームあたり6枚の入場チケットを同封する。入場チケットは当日持参し、入場ゲートでスタッフに渡すことにより、入場料金が免除される。忘れた場合、入場料金(500円/名)が必要。未使用の入場チケットの返金はおこなわない。
- シリーズ固定ゼッケン取得料金:1,000円/年間(初回参加時に参加料金と併せて振り込むこと。)
※参加チームはすべて固定ゼッケンのみとなる。全チーム固定ゼッケン取得必須!

6.参加人数

1チームあたり:3名~6名(当日提出の参加誓約書に登録されているドライバーであれば交代、順番、回数など自由。)

7.参加クラス

■NA(自然吸気)エンジン

◇オープンクラス…①NOトゥデイクラス / ②NO クラス ◇クローズドクラス…③NC クラス ◇ノーマルクラス…④NN クラス

※トゥデイは「NOトゥデイクラス」のみ参加可能。

■加給機(ターボ)付エンジン

◇オープンクラス…⑤TO クラス

8.参加台数

全クラス合計:35 チームまで

9.参加申込方法

■申込受付期間

※申込受付期間以外の受付はおこなわない。

※申込受付期間は各ラウンドの受付開始前に当社 HP で発表する。

■申込方法

①当社 HP より WEB 申込をおこなう。(FAX や郵送での受付は一切おこなわない。)

・受付開始は申込受付開始日の深夜 0:00~となる。(それ以前の送信分は無効扱いでデータが削除される。)

・必要項目をすべて入力しなければ申込として受理されない。

・WEB 申込受付後、申込受信メールを返信するので、確認すること。

(申込受信メールとは“ツイン側で WEB 申込を受信したことを申込者へ返信するメール”であり、この時点では申込受理とはなっていないので要注意！)

②参加料金を下記口座に振り込むこと。

※振込先…**三菱 UFJ 銀行 春日井支店 普通口座 No.4660927 口座名義:株式会社ツインサーキット**

・振込人名は WEB 申込時に入力した代表者の名前とすること。

・振込手数料は参加者負担とする。

・振込確認は三菱 UFJ 銀行のインターネットバンキングでおこなう。

振込順はインターネットバンキングでの表示順で決定し、申込受理漏れやピット位置などの苦情は一切受け付けない。

- ・受付開始日前の日付での着金は、受付開始日に WEB 申込、振込したチームの最後尾扱いとなる。
- ・振込以外での「現金持参」や「現金書留」などは一切受け付けない
(止むを得ない事情で、振込以外でしか入金できない場合は、その日の受付分の最後尾扱いとなる。)

■申込の成立

- ①「WEB 申込」と「入金確認(振込)」が取れてはじめて、申込成立とみなす。(確認が取れ次第、事務局より参加受理証類を郵送する。)
- ②隣接ピット希望ありの場合、すべての隣接希望対象チームの申込および入金完了していなければ処理されず、後回しとなるので要注意!
- ③ここ数年は**申込受付開始日に 35 チームのエントリーが確定し、参加受付締め切りとなっているケースが多くなっている。**
- ④「確実に申込受付される方法は？」や「どの金融機関から振込むのが早い？」など当社に問合せいただいても一切お答えできません!

■キャンセルについて…必ず事務局へ電話連絡すること!(メールでの対応は不可)

- ①各ラウンドの申込受付期間終了日の 10 日前までのキャンセル ⇒ 事務手数料 1,000 円を差し引いて返金する。
例: 申込受付期間の終了日が 5 月 6 日の場合、4 月 26 日以前のキャンセルが対象。
- ②上記を越えてからのキャンセル ⇒ キャンセル不可となり、返金はない。(リタイヤ扱い)
例: 上記対象が 4 月 26 日の場合、4 月 27 日以降のキャンセルが対象。

■車両申請書について(参加受理証を受け取ったチームのみ)

開催日 1 週間前までに当社 HP 内の「車両申請書」をプリントアウトし、必要事項を記入の上、FAX すること。

10.参加受付

- 参加チームの代表者は、受付終了時間までに受付事務所にて参加受付を完了させること。
- 参加受付に必要な書類…(登録ドライバー全員の署名、捺印のある)参加誓約書
※未成年者は親権者の同意が必要。同意が無い場合、レースへの参加は認めない。

11.自動計測器

- 自動計測器は、サーキットスタッフが各チームのピットを回り、後部ナンバープレート付近へ取付ける。
- 主催者が貸与する自動計測器以外の AMB 社製トランスポンダーを取り付けてはいけない。
ただし、ラップショットや P-LAP など、主催者の計測装置に影響のない計測機器の取り付けは自由とする。
- 自動計測器は、決勝終了後、30 分以内にコントロールタワー1F 受付事務所まで返却すること。時間内に返却がなければ失格とする。

- レース途中でのリタイヤの場合は、リタイヤの届け出時に併せて返却すること。
- 自動計測器を破損、紛失した場合、いかなる理由を問わず、その原状復帰費用として、1 台あたり 50,000 円(税込)を主催者に支払わなくてはならない。

12.ゼッケン

- ゼッケンは各チームで準備し、車検前までに貼り付けること。
- 貼付け箇所(4 か所)・・・①ボンネット左上(車内から見て左手前)、②③左右ドア、④リアハッチ付近
- 数字について ・数字色・・・黒(書体はゴシック体) ・数字サイズ・・・①②③:高さ・幅 200mm、太さ 30mm 程度。 ④:高さ・幅 150mm、太さ 20mm 程度。
- ゼッケンが「見づらい」と判断した場合やゼッケンが作成できないチームは、当社作成のゼッケンを購入する。(2,000 円/4 枚)
※ゼッケンの作成可否は WEB 申込時に申告すること。
- ゼッケンベースは白(雨などでベースが破れ、滑落しないよう各自工夫すること。)
- クラスゼッケン・・・ゼッケンベースの四辺にクラス識別用の枠線をつけること。枠線の太さは 20mm 程度。
※オープンクラス:青色枠、クローズドクラス:黄色枠、ノーマルクラス:ピンク枠

13.ピット使用に関する注意事項

- 使用ピットは主催者が割り当てる。申込受理順のため、屋根付ピットも電源も使用できない場合がある。(ピットの指定はできない。)
 - ・ピットの割り当てに関する抗議は一切受け付けない。
 - ・チーム間でのピット位置の変更は認めない。
- 屋根付ピットのチームは自チームのピットの柱にある電源の使用可能。
 - ・他チームの使用電源からのタコ足配線による使用は認めない。
- 屋根付ピット以外が割り当てられたチームで電気の使用が必要な場合は、自前で発電機を持ちこみ、使用してもよい。
 - ・発電機への給油は認めるが、火災などに十分注意すること。
- ピット内での火気使用(喫煙を含む)および給油(発電機への給油以外)は一切禁止とする。
 - ・違反したチームは即刻失格とする。特に喫煙(加熱式タバコも含む)が散見しているので注意すること。
- 各チームとも消火器を準備し、使用ピットに常備すること。
 - ・粉末タイプまたは CO2 タイプで薬剤重量:2.0kg 以上の消火器。
 - ・車載消火器とは別に準備すること。**製造から 10 年未満のものの使用を強く推奨**する。

14.車検

- 各回のスケジュールで定める時間に、各チームのピットにて実施する。
 - ・登録されたドライバーやメカニックの最低1名以上が立ち会うこと。
 - ・クラス別の車両規則に合致しない場合、上位クラスへ変更の上、減算ペナルティ(10周)が科されることを条件に大会への参加を認める。
 - ・規則または安全上、出走に不適格と判断された場合は、大会への参加は認めない。
- 車検完了後、車両の変更は認められない。違反したチームは失格となる。
- 主催者は大会中、随時車検を実施できることとし、参加チームはそれを拒否できない。

15.ドライバーズミーティング

- 場所、時間は場内アナウンスで案内する。登録ドライバーは全員参加とする。
 - ・ミーティング時間内はエンジnstopp厳守。音によりミーティングの妨げになる機器(発電機など)もすべて停止すること。

16.装備品

- ヘルメット(フルフェイスタイプまたはジェットタイプ)
 - ・SNELL 規格または JIS C 種が望ましい。
- 長袖、長ズボン(厚手のもの)
 - ・怪我や火災から身を守ることを考慮し、厚手の綿素材のものを強く推奨する。レーシングスーツ(ダブルレイヤー以上)が望ましい。
- シューズ(運転に適したシューズ)
 - ・ドライビングシューズが望ましい。
- グローブ(自動車ドライビング用で指先まで覆うもの)
 - ・軍手、指が切れたグローブは不可。

17.走行における遵守事項

- 4点式以上のシートベルトを装着すること。
- 運転席側の窓は2/3以上(屋根をオープンにする場合は全閉)閉めること。
 - ・ウインドウセーフティネット装着の場合は、全開でもよい。

- ・(同乗走行を除き)助手席および後部座席は全開でもよい。(屋根をオープンにする場合も同様)
- 故意に規定の走路からコースアウトしたり、コースおよびコーナーをショートカットすることは禁止される。
 - ・予選:該当タイム抹消。決勝:減算ペナルティ(1周)となる場合もある。
- ランオフエリアやダートエリアに進入した場合、安全を確認の上、速やかに規定の走路に戻ることができる。
 - ・泥や砂利を巻き込み、コースオフィシャルより、ピットインを命じられた場合は、直ちにピットインし、洗車場にて洗車をおこなわなければならない。(決勝中の場合、上記ピットインは義務ピットイン回数に含まれない。)
- 大会期間中、如何なる場合でも危険な運転行為をおこなってはならない。(状況に応じてペナルティの対象となる。)
 - ・「故意に衝突する」、「他の車両のコースアウトを強いる」、「ストレートでの必要以上の急減速」など
- 事故や故障により、コース内で停車する場合、競技中の他の車両の妨げとならないよう、走路外のダートエリアに停車(コーナー付近の危険箇所は避ける)し、降車せず、装備類を外さずに車内で待機すること。
 - ・その後の対応はコースオフィシャルの指示に従うこと。
- 走行中の服装について
 - ・「グローブを外している」、「袖まくりをしている」などはペナルティの対象となる場合がある。

18.フラッグについて

- チェッカーフラッグ
 - ・フリー走行・予選:セッション終了。
 - ・決勝:レース終了。
- イエローフラッグ(黄旗):前方にスピン車両、停止車両、落下物などあり
 - ・静止:減速し、注意して走行する。
 - ・振動:該当箇所または次のポストまで速度を落とし、追い越し禁止。
- レッドフラッグ(赤旗):走行やレースが継続できない重大な事故やトラブルが発生
 - ・フリー走行・予選:走行中断。減速し、速やかにピットインする。追い越し禁止。
 - ・決勝:レース中断。追い越し禁止。減速して進み、オフィシャルの指示に従い、メインストレート上で停止。
- グリーンフラッグ(緑旗):コースクリア
 - ・フリー走行・予選:コースイン可能。

・決勝 スタート時:フォーメーションラップ開始。 赤旗再開時:ローリングスタート開始

■オレンジボール(黒地にオレンジの○)+ゼッケンボード:車両トラブルあり

・この旗を振られ、ゼッケンボードで掲示されたゼッケンNo.の車両は、速やかにピットインすること。ピットイン後、スタッフの指示に従うこと。

19.フリー走行

■予選前にフリー走行がおこなわれる。

■ドライバー交代、ピットイン回数などの制限はなし。

■助手席への同乗走行は認められる。ただし、登録されているドライバーのみであり、装備類はドライバーと同様でなければいけない。

・同乗者はグローブ着用必須ではないが、推奨

■フリー走行終了後は、指定ピットへ戻ること。

■フリー走行では自動計測器の動作確認もおこなうため、必ず全チーム、自動計測器が取り付けられた状態で、最低1周以上は走行すること。

20.予選

■フリー走行終了後、予選がおこなわれる。

■ドライバー交代、ピットイン回数などの制限なし。

■同乗走行は禁止。走行は登録ドライバーに限る。

■予選後は指定ピットに戻ること。

21.中断・再開(フリー走行および予選)

■走行続行が危険と判断した場合、全ポストで赤旗振動により、走行中断が合図される。

・各車減速の上、速やかにピットインすること。

■再開については、ピットロードエンドの信号を「緑」点灯およびメインポストから「グリーンフラッグ振動」で知らせる。

・その後は各自の判断で再コースインしてもよい。

■フリー走行および予選中の赤旗中断から再開までの時間は、ロスタイムとしては扱わない。

22.決勝グリッド

- 決勝グリッドは予選結果のタイム順で決定する。
- 予選でタイムを残せなかったチームは、タイムの残った最下位のチームの後ろのグリッドとなる。
 - ・タイムを残せなかったチームが複数チームある場合、ゼッケンNo.の小さい順とする。

23.スタート方法

- スタートは、スタンディングスタート(グリッドスタート)とする。
 - ① 決勝開始 15 分前ごろに、ピットロードエンド付近に整列しようアナウンスが入る。
 - ・各チームは、車両をピットロードエンド付近に速やかに移動すること。
 - ② ピットロードエンドの信号が「緑」点灯されたら、各車速やかにコースインする。
 - ③ コースイン後、1 周回し、ホームストレート上のダミーグリッドに整列し、エンジンを停止する。
 - ・チーム員はコース内に入り、自チームの車両のグリッド整列の補助をしてもかまわない。
 - ・グリッド上ではリバースギアを使用してはいけない。(必要時は人力でバックさせる。)
 - ・グリッド上での給油、タイヤ交換などを含む各種作業は禁止とする。
 - ④ フォーメーションラップ開始 3 分前・・・隊列前方もしくはメインポストにて「3 分前ボード」が掲示される。
 - ・第 1 ドライバー、オフィシャルを除く、すべての者はコース上から退去する。
 - ・レーススタートまではコンクリートウォールやピットロードへの入場禁止。(ピットサインエリアまで下がる)
 - ・ピットロードエンドの信号が「赤」点灯。
 - ・この時点でグリッド整列できない車両およびトラブルなどによりコースインできない車両はピットスタートとなる。
 - ⑤ フォーメーションラップ開始 1 分前・・・隊列前方もしくはメインポストにて「1 分前ボード」が掲示される。
 - ・ドライバーは着座した状態でエンジンを始動する。
 - ⑥ フォーメーションラップ開始・・・メインポストにて「グリーンフラッグ」が振動される。
 - ・隊列、順番を保ったまま、コースを 1 周回する。
 - ・トラブルなどでスタートできない車両は、手をあげるなどしてコースオフィシャルおよび後続車両に合図を送ること。
コースオフィシャルの補助でエンジン始動を試み、スタートできれば、速やかに隊列の最後尾につく。スタートできない場合は、ピットスタートとなる。

⑦スターティンググリッドへの整列

- ・各車両は、各自のスターティンググリッドへ整列し、エンジンを始動したまま待機する。

⑧レーススタート

- ・全車両が整列完了したことが確認されると、メインシグナルの「赤」が点灯する。その後、約 2～5 秒後に赤が消灯(ブラックアウト)し、スタートとなる。
- ・ピットスタートの車両は、レーススタート後、コースオフィシャルが安全を確認した後、ピットロードエンドの信号を「緑」点灯させたら、スタートできる。

24.ピットイン・ピットアウト

■ピットインについて

- ・ピットインする車両は、第 2ヘアピン付近からコースの左側により、左ウインカーもしくはハザードで後方車両に合図を送った後、安全を確認しピットロードへ進入する。
- ・ピットインする際、ホームストレートのゼブラゾーンをまたいで、ピットインしてはいけない。
※ゼブラカット(ゼブラゾーンをまたいでピットイン)・・・フリー走行:警告、予選・決勝:ペナルティストップ(忠告)
- ・すでにピットインしているチームの車両や、ドライバー、メカニック、チーム員などは、他のピットイン車両の通行を妨害してはならない。

■ピットロードでの制限速度について

- ・40km 以内とし、横断者や他の車両などに十分注意すること。抜き打ちでスピードガンにて計測することもある。
※ピットロードに設置の 3 か所のパイロンゲートがあるので、必ずそのゲートを通過すること。
※パイロンゲート不通過、パイロン接触、制限速度超過などの場合、減算ペナルティ(1 周)が課される。

■ピットアウトについて

- ・ピットロードエンドの信号が「緑」点灯している時のみに限られる。
※違反した場合(信号が「赤」なのにコースインした)・・・フリー走行:警告、予選・決勝:ペナルティストップ(3 分停止)
- ・ピットアウトの際、ホームストレートのゼブラゾーンをまたいで、コースに合流してはいけない。
※ゼブラカット(ゼブラゾーンをまたいでコースへ合流)・・・フリー走行:警告、予選・決勝:ペナルティストップ(忠告)
- ・ピットアウト後、コースに合流する車両は、第 2 コーナー左側の縁石が終了するあたりまで、コースの左側を走行し、後方からの車両の走行を妨げない。

■ピットロードでの注意事項

- ・逆走禁止、バックギア使用禁止。
※自チームのピットを通り越した場合、ピットスタッフ承認の上、エンジンを停止し、ドライバーおよびメカニックが人力で後ろ向きに押し、自チームの

ピットにつけることができる。その際、他チームのピットインやピットアウトする車両の通行や作業を妨害してはならない。

・ピットアウト車両は、ピットイン車両に優先権があることを認識しておく。

25.義務ピットインおよびピット作業

■決勝スタートからチェッカーまでの間に **5回以上**、義務ピットインをしなければいけない。**5回未満**の場合減算ペナルティ(3周)となる。

・ピット作業(ドライバー交代、車両修理・調整)や給油、ピットスルーだけなどいずれのピットインも義務ピットインとしてカウントされる。

・以下のピットインは義務ピットインとしてカウントされない。

※赤旗や SC 対象車両が自力でピットインしたとき

※オレンジボールフラッグ対象車両がピットインしたとき

※ドライブスルーやピットストップなどのペナルティ対象車両がピットインするとき

※その他、コースオフィシャルから強制的にピットインを命じられ、ピットインするとき

■ピットストップ時のエンジン停止は問わないが、安全面に留意し、危険のないピット作業を心がけること。

■作業が長時間になる場合は、ピット作業エリアではなく、自チームピット内に車両を移動させ、作業すること。

■ピットを水浸しにするような行為は、出火などの緊急時を除いては慎むこと。

・ラジエターやタイヤの冷却の場合は、噴霧器などを準備し、それを利用すること。

■ピットロードやピットエリアでは右記の行為は危険のため禁止とする。・・・①傘(日傘を含む)の利用。②ハイヒール、サンダルの着用。

■タイヤ交換について

・回数の制限はなし。

・交換時には必ずピットスタッフに「交換する」旨の申請をすること。(ピットスタッフがタイヤ銘柄などを確認する。)

・申請のないタイヤ交換は「ペナルティストップ」とし、ペナルティ消化時にタイヤ銘柄などの確認をおこなう。

26.給油に関して

■燃料持込および申請について

・持込可能時間内に給油所へ燃料の持込および申請をおこなう。時間外持込は賞典外とする。

■燃料について

・持込可能総量は 60 リットルまでとする。(携行缶 20 リットル×3 本)

■持込容器について

- ・消防法に適合した市販品の「20 リットル金属製ガソリン携行缶」のみとし、本体、ノズルなどへの一切の加工を禁止とする。
- ・使用可能形状は下記写真を参照。違反時は**失格**とする。
ただし、給油に使用せず、**給油所での保管だけのための容器は上記条件を満たしているものであれば形状は問わない。**

※右記のような横置きタイプを使用すること ⇒



※右記のような縦置きタイプや円柱タイプは使用不可 ⇒
(ただし、保管用に限り、使用を認める)



■給油について

- ・給油は必ず給油所でおこなう。(給油所以外での給油が発覚した場合は失格とする。)
- ・給油可能時間は、タイムスケジュールにて必ず確認しておくこと。
- ・**決勝中、必ず1回は給油をおこなうこと。(決勝中の給油がなければ減算ペナルティ(3周)とする。)**
- ・1回の給油量は1缶(20リットル)までとする。(すべてのセッションにおいて)
※例:2缶の携行缶にそれぞれ10リットルずつ燃料が残っていても、1回の給油では1缶(10リットル)しか給油できない。
1回の給油で2缶分(10リットル+10リットル=20リットル)をすべて使用したい場合は、給油作業前までに給油所スタッフの許可を得て、1缶にまとめておくこと。

■給油方法について

- ・給油は必ず、給油要員、消化要員あわせて、2名~3名体制でおこなう。(ドライバーを給油要員または消化要員としてもよい。)
- ・給油要員および消化要員は下記服装で対応すること。
※フルフェイスヘルメット:必ずシールドは全閉にする。 ※グローブ着用 ※長袖:袖まくりなど禁止。 ※長ズボン:裾まくりなど禁止。
※靴:サンダルやクロックスなど禁止。

- ・消化要員は給油中の給油要員の隣で消火器を構え、消火器のノズルを給油口に向けておかなければならない。
(給油所に備え付けの消火器使用可。)
- ・給油の際は必ず携行缶のエア調整ネジを緩め、缶内の内圧を調整してから、タンクキャップを取り外すこと。
キャップを一気に外すと、内圧差によるガソリンの噴出、キャップの飛び出しなどによる事故が想定されるので、要注意！

■給油エリアへの入退場について

- ①給油エリアへの進入の際、チーム員がエリア手前に定めた停止線上に車両の進入を塞ぐように立ち、惰性での進入を防ぐ。
- ②車両はライン手前で必ずエンジンを止め、車両も完全に停止させる。
- ③その後、チーム員が車両を手押しし、給油エリアへ進入すること。
- ④給油
- ⑤給油エリアから出る際には、エンジンを止めたままの車両を手押しし、**車両の後輪がエリア出口に設置された段差を完全に乗り越えた以降にエンジン ON すること。**

※手押しするだけのチーム員の服装は自由。

手押しが終わったら給油作業に携わらず、速やかに給油エリア外に出ること。



■給油エリアでの禁止事項

- ・給油以外の作業(窓拭きなど軽微なものも含む)。
※ドライバーが給油要員や消化要員の場合、運転席に乗り込んだ後のシート調整は許可される。
- ・車両のジャッキアップ。
- ・火気(喫煙、加熱式たばこを含む)の使用。

■ペナルティについて

- ・給油に関する違反(給油規定違反、服装違反、給油エリア内エンジン ON など)は減算ペナルティ(1 周)が課せられる。
- ・給油エリア内での火気使用(喫煙や加熱式たばこも含む)は、即刻失格とする。

27.レース中断(赤旗)および再開

■レース中断(赤旗)

- ・アクシデントなどにより、レースの続行が難しいと判断した場合、赤旗を掲示して、レースを一時中断させることがある。
- ・赤旗は全ポスト一斉掲示ではなく、メインポストにて先頭車両から掲示される。
全車両ともメインポストにて赤旗掲示を受けたら、そのまま徐行した状態で1周回し、メインストレート上でコースオフィシャルの指示に従い、停車すること。(エンジンは始動のままでよいが、コースオフィシャルよりエンジン停止の指示があった場合はそれに従うこと。)
- ・赤旗掲示中はピットインしないこと。(赤旗掲示前にピットインしていた車両は除く。)
- ・メインストレート上での停車車両に対して、ドライバーは一切の作業をしてはいけない。
- ・チーム員のコースへの進入も禁止。(赤旗中断が長引き、コースオフィシャルより許可が出た場合は除く。)

■レース再開(ローリングスタート)

- ・ローリングスタート開始の合図は、メインポストにてグリーンフラッグ振動にて知らせる。
- ・隊列の先頭車両からスタートし、原則として“1周”のフォーメーションラップをおこなう。
- ・再開可能と判断した場合は、メインシグナル「緑」点灯およびメインポストからグリーンフラッグ振動をもって、再スタートとする。
※フォーメーションラップは、前車との間隔を5車身以内に保たなければならない。前車との間隔が開き過ぎた車両はドライブスルーペナルティとなる。
※フォーメーションラップは基本的には1周とするが、状況により2周以上の走行する場合もある。メインポストからグリーンフラッグが掲示されず“1LAP ボード”が出た場合は、もう1周フォーメーションラップを継続するという意味なので、その指示に従うこと。
※赤旗再開時のフォーメーションラップも正式周回としてカウントされる。
- ・赤旗掲示～レース再開までの間は追い越し禁止(ドライブスルーペナルティ)とする。
判定は主催者の計測装置から出力された結果で判断し、メインポストより先頭車両から順番に赤旗を掲示した際の通過順と再スタート後の計時ライン通過順を比較し、ペナルティの判定をおこなう。

■赤旗中断中や中断直前にピットインした車両について

- ・ローリングスタート後、コース上の全車両がメインストレートを通過し、安全が確認された後、ピットロードエンドの信号が「赤」→「緑」に変わった時点でコースインが可能となる。上記タイミングでピットアウトできない車両は、レース再開後、隊列がメインストレートを通過し、安全が確認され、ピットロードエンドの信号が「緑」に変わるまではコースインできない場合もある。

■赤旗対象車両について

・コースから自力でピットへ戻れる場合

- ①結果的に走行に問題が無くても、必ずピットインしなければならない。(義務ピットインには含まれない。)
- ②問題点を解決し、コースオフィシャルが復帰を認めた場合のみ、レースへの復帰は可能。
- ③ただし、コースインできるタイミングは赤旗中断中にピットインした車両と同様である。
- ④万が一、赤旗中断中にピットインした他の車両と同じタイミングでコースインする場合、その最後尾からのコースインとなる。

・コースから自力でピットへ戻れない場合

「エンジンがかからない、ギアが入らないなどでまったく自力で動かない」、「グラベルでスタックし、コースオフィシャルが手押ししなければ自力で脱出できない」などはすべてリタイヤ扱いとなる。

28.フルコースコーション(セーフティーカー導入)

■アクシデントなどにより、走行に支障があるが、中断の必要がない場合に導入される。

- ①全ポスト一斉に「SC ボード」と黄旗(イエローフラッグ)を振動表示。
- ②メインストレートのメインシグナルが「黄」点滅される。
- ③ピットロードエンドよりセーフティーカーが導入され、フルコースコーションとなる。
※すべての走行車両は最徐行し、追い越し禁止となる。(追い越した場合はペナルティとなる。)
※ピットイン/ピットアウトが一時的にできなくなる。(ピット出入口を封鎖する。)
※この時点でピットにいる車両のコースインは制限される。
- ④セーフティーカーはコースイン後、暫定トップ車両がセーフティーカーの直後につくまで、その他の車両を追い越させる。
※追い越しの指示を出された車両は速やかにセーフティーカーを追い越し、隊列の最後尾にまわること。
※暫定トップ車両のゼッケンはメインポストで掲示するので、各ドライバーは確認すること。
- ⑤セーフティーカーが暫定トップ車両の前に入り、隊列が整った後、コース上の安全が確認されるまでは、セーフティーカー先導のまま周回を重ねるが、この間の周回数はカウントされる。
※ピット入口は開放され、ピットインしての給油作業、ドライバー交代、点検作業などは認められる
- ⑥(コース上の安全が確認され)レース再開の際、セーフティーカーはメインポスト前で全灯火類およびパトライトを全消灯した状態でコースを2/3周し、最終コーナー付近からアウトラインに寄り、ピットインする。

⑦セーフティーカーがピットインし、代わりに暫定トップ車両が隊列を先導し、メインポストにて、グリーンフラッグが振動表示され、メインシグナルが「緑」点灯したら、レース再開となる。

※全車両はメインポスト前を通過するまで追い越しをしてはならない。

注)フルコースコーション中にマシントラブル、ガス欠などにより隊列走行の維持が困難な場合は、後続車に合図を送り、アウトラインを走行すること。

他の車両は該当車両の追い越しをしてもよい。

■フルコースコーション中にピットインした車両について

- ①セーフティーカーが暫定トップ車両の前に入り、隊列が整ったことを確認。
- ②セーフティーカーを先導とした隊列の最後尾がメインストレートを通り、1コーナー付近に差し掛かったあたりで、ピットロードエンドの信号が「赤」→「緑」に変わり、コースイン可能となる。
- ③コースインした車両は速やかに隊列最後尾につく。(追い越しは禁止)
- ④隊列最後尾(ピットからコースインした車両)がピラミッドコーナー付近に差し掛かった時点でピットロードエンドの信号が再び「緑」→「赤」に変わり、コースイン不可となる。
- ⑤以降、②～④を繰り返す。

■セーフティーカー導入対象車両について

・コースから自力でピットへ戻れる場合

- ①結果的に走行に問題が無くても、必ずピットインしなければならない。(義務ピットインには含まれない。)
- ②問題点を解決し、コースオフィシャルが復帰を認めた場合のみ、レースへの復帰は可能。
- ③セーフティーカー導入中の再コースインはできない。コースインできるタイミングはセーフティーカーがピットに戻り、コース上の隊列が再スタートした後、ピットロードエンドの信号が「緑」になるまでは再コースインできない。
- ④万が一、セーフティーカー対象以外の車両が並んでいる場合、その最後尾からのコースインとなる。

・コースから自力でピットへ戻れない場合

「エンジンがかからない、ギアが入らないなどでまったく自力で動かない」、「グラベルでスタックし、コースオフィシャルが手押ししなければ自力で脱出できない」などはすべてリタイヤ扱いとなる。

29.各種ペナルティ(予選・決勝が対象。フリー走行中は警告のみ)

■「ドライブスルーペナルティ」

- ・対象車両に対して、メインポストより「DP」ボードとゼッケンボードを掲示。
- ・速やかにピットインし、ピットロードを 40km 未満で通過する。(ピットへの停車禁止。)

※対象となる違反

- ◇黄旗掲出時追い越し(フルコースコーション時も同様)
- ◇赤旗～レース再開時追い越し
- ◇(赤旗再開時)フォーメーションラップ中の車間開けすぎ

■「ペナルティストップ」

- ・対象車両に対して、メインポストより「PS」ボードとゼッケンボードを掲示。
- ・速やかにピットインし、ピットロードを 40km 未満で通過し、ペナルティ実行場所のピットストップエリアに停車し、コースオフィシャルの指示に従う。

※忠告のみ:対象となる違反

- ◇(ピットイン、コースイン時の)ゼブラゾーンカット
- ◇運転席側窓開き走行
- ◇ウインカー・ハザード走行
- ◇服装違反(袖まくり、裾まくり、グローブ未着用など)
- ◇危険運転
- ◇申告なしのタイヤ交換
- ◇その他(競技長判断)

救済措置として発見次第、メインポストより違反警告改善を促すよう警告ボードを掲示し、3 周以内に改善されれば警告のみとする。
※改善されない場合はペナルティストップとする。

※3 分停止:対象となる違反

- ◇ピットロードエンド信号無視

※「ドライブスルーペナルティ」や「ペナルティストップ」は、ペナルティボードを掲示されてから 3 周以内に実行されない場合、**ペナルティボード無視として、「5 周減算」とする。**(ボード掲示はその時点で終了する。)

※ペナルティ対象車両がペナルティ実行のためにピットインする場合は、義務ピットイン回数にはカウントしない。

■「減算ペナルティ」

・1 周減算

- ◇故意に走路からコースアウトしたり、コースやコーナーをショートカットした場合(予選:「該当週のラップタイム抹消」)
- ◇給油規定違反(エリア内でエンジン OFF しない、給油要員および消化要員の服装違反、給油以外の作業ありなど給油エリアでの違反全般)
- ◇ダブルチェッカー
- ◇ピットロードでのパイロンゲート不通過、パイロンへの接触、パイロンを転倒させた場合、制限速度超過

・3 周減算

- ◇義務ピットイン回数(5 回未満の場合)違反
- ◇決勝中、1 回以上給油していない。

・5 周減算

- ◇ペナルティボード(ドライブスルーペナルティ、ペナルティストップ)無視

・10 周減算

- ◇車検にて車両規則に合わず、上位クラスへ変更となり、大会に参加する場合

・その他

- ◇レース終了間際で「ドライブスルーペナルティ」や「ペナルティストップ」などの各ペナルティが実行できない場合(減算数は競技長判断)

※上記以外でも競技長判断で減算ペナルティが実行される場合がある。

※減算ペナルティは発覚次第、都度レース中に減算処理される。

■「失格」

- ・ピット内での火気使用や喫煙(加熱式タバコなども含む)、給油(発電機への給油以外)などがあった場合
- ・規則や安全上、走行に不適格と判断された場合
- ・車検後に車両変更した場合
- ・競技車両で施設外へ出た場合
- ・給油エリア内での火気使用、喫煙(加熱式タバコなども含む)などがあった場合

- ・規則書で使用可能と謳っている燃料持込容器以外の形状や素材などの容器を使用した場合
- ・決勝後 30 分以内に自動計測器が返却されなかった場合
- ・飲酒後に運転しようとした場合（運転しなくても運転席に乗り込んだ時点で失格）
- ・再車検でレギュレーション違反が発覚した場合
- ・**その他、他チームや大会関係者などへの暴言、暴力などがあった場合（失格とともに今後の出入り禁止措置も伴う場合あり）**

※上記以外でも競技長判断で失格とする場合がある。

※失格となった場合でも、エントリー費などの返金は一切おこなわない。

■「リタイヤ」

- ・**レース中、いかなる状況であっても、以下の状態になったチームはリタイヤとみなす。**
 - ◇コース上や安全位置で止まったが、（エンジン、その他の要因に関わらず）自力で再スタートできない。
 - ◇グラベルなどに入り込み、まだ走行は続けられるが、コースオフィシャルの手を借りなければ自力で脱出できない。
 - ◇自力復帰できるも、低速でしかピットへ戻れず、他の参加チームのレースの妨げになり危険であると、競技長が判断した場合。
 - ◇自力復帰できず、レース進行上、危険位置のため、コースオフィシャルが牽引車両などでピットへ戻した場合

※上記以外でも競技長判断でリタイヤとする場合がある。

※ピットインの際、ピットループを越え、ピットロードへ進入後、動けなくなった場合や、ピットアウトの際にピットエンドシグナルの信号の手前のピットロード上で動けなくなった場合は、ピット員が手押しして自ピットに戻ることができる。（リタイヤ扱いとはならない。）

その際、他のピットイン、ピットアウトの車両の進路を妨害しそうな場合は一時的にコースオフィシャルが手押しし、邪魔にならないスペースへ移動の補助をおこなう場合があるが、リタイヤではない。

30.レースの終了

- 決勝レースの終了時間を経過した後に、トップ車両に対してメインポストよりチェッカーフラッグが振られ、レース終了となる。
- チェッカーを受けた車両は、ハザード点灯し、スローダウンの上、コースを 1 周回し、コースオフィシャルの指示に従い、メインストレートで停止すること。
 - ※再車検を受けるチーム、受けないチームの選別はオフィシャルにて指示をするので、その指示に従う。
 - ※ダブルチェッカーは減算ペナルティ(1 周)となる。

31.順位の決定

- 順位認定は、メインポスト下の計測ラインを通過し、かつメインポストでチェッカーを受けて周回を完了した車両に対して与えられる。(完走扱い)
- 順位はチェッカーを受けた車両の中で周回数の多い車両から決定する。同一周回の場合は、計測ライン通過順位によるものとする。
- 走行周回数が各クラスのトップ車両の走行周回数の70%未満(端数切捨て)の車両は順位の認定を受けられない。(非完走扱い)

32.抗議など

- “フリー走行開始～予選終了まで”と“決勝終了後 15 分以内”に競技長にチーム代表者が申告すること。それ以外の抗議は一切受け付けない。

33.再車検

- レース終了後に、上位入賞車両(暫定)に対して再車検の指示がでることがある。対象クラスも当日決定する。
- 再車検場所は当日チェッカー後に対象車両には別途案内する。
- 再車検にてレギュレーション違反が発覚した場合は**失格**とする。

34.賞典

- 各レースの表彰はクラス単位でおこなう。(総合順位ではない。)
- 賞典対象は各クラス別の参加台数により変動する。
※6 台以上:1～3 位(楯+副賞) / 4～5 台:1～2 位(楯+副賞) / 3 台以下:1 位(楯のみ)

35.シリーズポイント

- 獲得ポイント(各ラウンド)
1 位:20pt / 2 位:15pt / 3 位:10pt / 4 位:8pt / 5 位:6pt / 6 位:4pt / 7 位:3pt / 8 位:2pt
※完走し、順位認定された場合のみポイントが付与される。
(リタイヤを含む非完走やレース後に規定違反で失格となった場合などはポイントが付与されない。)
- ※1 ラウンドのクラス別参加台数が 3 台に満たない場合、そのクラスはポイント付与しない。

■シリーズ順位(クラス別)決定方法

- ・最終戦終了後、シリーズチャンピオンの暫定表彰をおこなう。
- ・最終戦終了後、各ラウンドの獲得ポイントを集計し、獲得ポイントがもっとも多かったチームをシリーズチャンピオンとする。
- ・同ポイントが複数チームの場合、総合周回数の多いチームが上位。(ポイント付与のあった各ラウンドの周回数を集計し、総合周回数を算出。)
- ・総合周回数も同じ場合、シリーズ中のベストラップの速いチームが上位。(ポイント付与のあったラウンドの中のベストラップにより決定。)